

問1 岐阜県北部に位置し、宮川の東側に広がる城山にかつて城が築かれ、その城下町としての歴史的景観を今に伝える都市がある。この都市の旧城下町エリア（上二之町など）には丁字路が配され、吹屋町の北側から東側にかけては寺院が集中するなどの歴史的特徴が見られる。また、近代以降の市街地拡大に伴い、西部の岡本町付近などは住宅地や学校などが整備されたが、苔川沿いに工業団地は造成されていない。この地形図から読み取れる土地利用の変化や歴史的景観の特徴をもつ、伝統的な町並みで知られる都市はどこか。（2018年 全国公立入試 類似）

1. 日南市 2. 倉敷市 3. 金沢市 4. 高山市

問2 ある地点を中心として描かれた地図において、その中心から任意の地点への方位と最短距離は正しく示されるが、中心を通らない任意の2点間を結ぶ直線の長さは地球上の実際の距離を正しく示さないという特徴を持つ、航空図などに広く利用されている地図投影法を何というか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 正距方位図法 2. 正積円筒図法 3. 正射方位図法 4. 正距円錐図法

問3 波や沿岸流の作用によって砂礫が堆積して対岸の陸地と陸続きになった結果、半島状の地形の一部となった島を何というか。北海道南部の函館山や、福岡県の志賀島がその代表例として知られている。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 海食洞 2. 海食台 3. 陸繋島 4. 海食崖

問4 山がちな地域において、水害を避けるためや、見通しが良く防衛に適しているなどの理由から、谷底ではなく山地の突起部分に沿って街道が通され、そこに宿場町などの集落が形成されることがある。地形図において、等高線が標高の低い方へ向かって凸状に張り出していることで示される、この地形の名称を答えよ。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 尾根 2. 斜面 3. 鞍部 4. 山頂

問5 ある土地利用における、衛星画像から得られる植生の光合成の活発度の季節変化を分析すると、5月は湛水（たんすい）により水面が露出するため活発度が低く、8月に最も高くなり、11月に低下するという特徴が見られた。この特徴に該当する、日本の主要な農業的土地利用を何というか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 樹園 2. 畑地 3. 水田 4. 牧草

問6 統計地図を作成する際、野菜の産出額や市町村ごとの総人口のように、数量そのものの大きさを表す数値を何というか。この数値は、地図上では円や棒などの図形の大きさで表す表現方法が適している。（2010年 全国公立入試 類似）

1. 絶対値 2. 相対値 3. 中央値 4. 平均値

問7 16世紀の大航海時代において、航海者が羅針盤を用いて等角航路を直線で表せるように考案された、地球儀の経緯線網を円筒上に投影した正角図法を何というか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. メルカトル図法 2. モルワイデ図法 3. ロビンソン図法 4. ランベルト図法

問8 中世ヨーロッパでは、キリスト教の教義や世界観が人々の生活や学問に強い影響を与えていた。この時期に描かれた世界地図の中には、科学的な正確さよりも宗教的な象徴性を重視し、聖地エルサレムを中心に据え、楽園があるとされた東を上にして、世界を円とT字の水路で表現したものがあある。このようなキリスト教的宇宙観を視覚化した世界図の名称を答えよ。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 混一図 2. TO図 3. 天下図 4. 坤輿図

問9 日本の南極観測拠点である昭和基地（南緯約69度）を中心とした正距方位図法において、オーストラリア南岸や南アメリカ南端付近を通る緯線は、南緯何度を示すか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 南緯30度 2. 南緯60度 3. 南緯50度 4. 南緯40度

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 4 高山市	岐阜県北部に位置する高山市は、宮川の東側にある城山（高山城跡）を中心に発達した城下町である。城下町特有の防衛上の工夫である丁字路（上二之町など）や、寺院の集中（吹屋町付近）といった歴史的景観が現在も地形図や実際の街並みに残されている。近代以降、市街地は宮川の西側へと拡大し、岡本町付近には住宅地や学校などが整備されたが、苔川沿いに工業団地は造成されておらず、主に住宅地や商業地としての土地利用が進んだ。
問2	答え 1 正距方位図法	中心からの距離と方位が正しく表現される図法であり、中心から任意の地点へ引いた直線は地球上の大圏コース（最短経路）となり、その長さは実距離に比例する。しかし、中心を通らない2点間を結ぶ直線は、実際の最短経路とはならず、その長さも実際の距離を正しく示さない。中心から離れるほど面積や形状の歪みが大きくなり、外周は中心の対蹠点となる性質がある。
問3	答え 3 陸繋島	波の作用や沿岸流によって運ばれた砂礫が島と陸地との間に堆積して陸繋砂州（トンボロ）が形成されると、それによって陸地と地続きになった島は陸繋島と呼ばれる。函館山はその代表例であり、他には和歌山県の潮岬や神奈川県の江の島などが知られている。
問4	答え 1 尾根	山地において、隣り合う谷と谷の間に挟まれた最も高い部分の連なりを尾根と呼ぶ。地形図上では、等高線が標高の低い方（山麓側）に向かって凸状に張り出している形状で表現される。尾根筋は水害に強く、見通しが良いため、古くから街道やそれ沿いの集落（宿場町など）が立地する場所として利用されてきた。
問5	答え 3 水田	5月は田植えの時期であり、土地に水が張られる（湛水する）ため、衛星画像では水面の影響を強く受けて光合成の活発度が低く観測される。その後、夏季（8月）にかけて稲が生長し、葉面積が最大になるため光合成の活発度はピークに達する。秋季（11月）には収穫（稲刈り）が終わり、作物がなくなるため活発度は再び低下する。このような明瞭な季節変化を示す土地利用は水田である。
問6	答え 1 絶対値	統計データには、数量そのものの大きさを表す絶対値と、単位面積あたりや全体に対する比率を表す相対値がある。総人口や農産物産出額などの絶対値は、数量の大きさを直感的に比較できるような、円の大きさなどの図形表現図で示すのが適切である。これに対し、人口密度や人口割合などの相対値は階級区分図で示される。
問7	答え 1 メルカトル図法	1569年にフランドル地方の地理学者メルカトルが発表した図法である。経線と緯線が直交し、任意の2点間を結んだ直線が等角航路（常に一定の方位を保って進む航路）を示すため、大航海時代の航海用地図として広く利用された。高緯度地方ほど面積が著しく拡大される特徴を持つ。
問8	答え 2 TO図	中世ヨーロッパのキリスト教的宇宙観を視覚化した地図である。円形（O）の中にT字の水路（地中海、タナイス川、ナイル川）を配し、アジア、ヨーロッパ、アフリカの3大陸を配置している。科学的な正確さよりも宗教的な象徴性が重視されており、聖地エルサレムが中心に、エデンの園があると信じられた東が上に描かれているのが特徴である。これに対し、古代のプトレマイオスの地図や、大航海時代以降の羅針盤を用いたポルトランド海図などとは性質が大きく異なる。
問9	答え 4 南緯40度	昭和基地は南緯約69度に位置する。オーストラリア大陸の南岸は南緯35度から40度付近、南アメリカ大陸の南端（フエゴ島付近）は南緯50度以南に位置している。これらの地域付近を通る主要な緯線は南緯40度である。昭和基地から北へ約29度（実距離で約3200km）離れた位置にあり、正距方位図法において昭和基地を中心とした同心円状の距離感覚を把握する上での重要な指標となる。